

令和3年5月 東京地区百貨店売上高概況

令和3年6月22日

I. 概況

1. 売上高総額	618億円余
2. 前年同月比（増減率）	77.7%（3か月連続プラス）
3. 店頭・非店頭の増減	店頭132.0%（84.8%）：非店頭-22.9%（15.2%） （ ）内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 24店（令和3年4月対比±0店）
5. 総店舗面積	801,738㎡（前年同月比：-2.8%）
6. 総従業員数	15,886人（前年同月比：-3.7%）
7. 3か月移動平均値	10-12月 -13.7%、11-1月 -21.7%、12-2月 -21.0%、 （店舗数調整後）1-3月 -12.4%、2-4月 26.5%、3-5月 63.6%

【参考】 令和2年5月の売上高増減率は-71.6%（店舗数調整後）

【特徴】

- (1) 5月の東京地区は、前年実施したコロナ影響による臨時休業や時短営業（前年平均営業日数18.1日）の反動で、売上高（77.7%増/3か月連続）、入店客数（113.0%増/2か月連続）ともに前年実績を上回った。一方、前々年（2019年）対比（実質伸長率）では、売上高（49.5%減）・入店客数（57.7%減）のいずれも半減しており、3度目の緊急事態宣言下での休業要請や外出自粛の影響から、一段と厳しい業績を強いられた。
- (2) 商品別では、主要5品目全てが3か月連続プラスだが、前々年比では大幅減が継続している。緊急事態宣言下において一部売場の休業等の影響により、商品別売上の伸びにもばらつきが見られた。身のまわり品（68.9%増/3か月連続）は、靴やバッグ、アクセサリが低調だった半面、雑貨（170.8%増/3か月連続）では、富裕層の消費意欲の強さを背景に高額時計の伸長が目立った。
- (3) 昨年の巣ごもり需要高伸の反動で、家庭用品（7.8%増/3か月連続）トータルでは伸びが鈍化したものの、調理家電や特選洋食器はギフト需要も加わり好調さを維持した。食料品では、菓子（119.1%増/3か月連続）の和洋生菓子がよく動き、手土産需要復調の兆しを見せた。
- (4) 店頭営業に制約を受ける中で、母の日、父の日、ランドセル販売、中元ギフト等の歳時記商戦では、オンライン接客の改良やバーチャルストアなどデジタル活用をより進化させ、店頭とオンラインサイトの連携によるシームレスな買い物体験の提供に取り組んでいる。
- (5) 6月中間段階の商況は、7.1%増（6/16）で推移しているが、前々年比では約29%減とコロナ前の水準には戻っていない。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.5日（前年同月比 +12.4日）
- (2) 入店客数増減（回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗）
①増加した：15店、②変化なし：1店、③減少した：2店
- (3) 5月歳時記（GW、母の日）の売上（同上/有効回答数11店舗）
①増加した：2店、②変化なし：3店、③減少した：6店

東京地区百貨店 売上高速報 2021年5月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	61,839,164	100.0	77.7
紳士服・洋品	3,664,341	5.9	122.5
婦人服・洋品	7,290,135	11.8	167.5
子供服・洋品	1,361,845	2.2	37.2
その他衣料品	867,980	1.4	81.3
衣 料 品	13,184,301	21.3	125.6
身のまわり品	7,294,627	11.8	68.9
化粧品	6,345,858	10.3	183.7
美術・宝飾・貴金属	5,149,727	8.3	325.8
その他雑貨	2,198,683	3.6	36.5
雑 貨	13,694,268	22.1	170.8
家 具	791,888	1.3	-29.4
家 電	931,236	1.5	30.2
その他家庭用品	1,908,652	3.1	24.5
家 庭 用 品	3,631,776	5.9	7.8
生 鮮 食 品	3,355,159	5.4	19.3
菓 子	4,846,458	7.8	119.1
惣 菜	4,916,249	8.0	69.6
その他食料品	7,160,148	11.6	45.2
食 料 品	20,278,014	32.8	57.8
食 堂 喫 茶	684,214	1.1	272.6
サ ー ビ ス	1,281,972	2.1	64.2
そ の 他	1,789,992	2.9	-25.0

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	1,115,316 千円	58.6
従 業 員 数	15,886 人	-3.7
店 舗 面 積	801,738 m ²	-2.8

営 業 日 数	30.5 日	前年	18.1 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品、食料品の主要5品目全てが3か月連続のプラスとなった。その他の品目は、美術・宝飾・貴金属が4か月連続、家電が6か月連続でプラスとなった一方、家具は2か月連続のマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
総額	77.7	—	3か月連続プラス
紳士服・洋品	122.5	5.8	3か月連続プラス
婦人服・洋品	167.5	13.1	3か月連続プラス
子供服・洋品	37.2	1.1	3か月連続プラス
その他衣料品	81.3	1.1	3か月連続プラス
衣料品	125.6	21.1	3か月連続プラス
身のまわり品	68.9	8.5	3か月連続プラス
化粧品	183.7	11.8	3か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	325.8	11.3	4か月連続プラス*
その他雑貨	36.5	1.7	3か月連続プラス*
雑貨	170.8	24.8	3か月連続プラス
家具	-29.4	-0.9	2か月連続マイナス
家電	30.2	0.6	6か月連続プラス
その他家庭用品	24.5	1.1	3か月連続プラス
家庭用品	7.8	0.8	3か月連続プラス
生鮮食品	19.3	1.6	2か月連続プラス*
菓子	119.1	7.6	3か月連続プラス*
惣菜	69.6	5.8	3か月連続プラス*
その他食料品	45.2	6.4	3か月連続プラス*
食料品	57.8	21.3	3か月連続プラス
食堂喫茶	272.6	1.4	3か月連続プラス
サービス	64.2	1.4	3か月連続プラス
その他	-25.0	-1.7	3か月連続マイナス
商品券	58.6	1.2	3か月連続プラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>